

お知らせ

十月例会

- ・期日 立教179年10月25日
- ・時間 16時受付 16時30分開始
- ・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】

- ・岩手 10月2日10時～ 教務支庁
- ・滋賀 10月2日11時20分～ 教務支庁
- ・岡山 10月2日11時～ 教務支庁

報告

八月例会

去る8月25日、第38母屋9階大広間に於いて「八月例会」を開催。出席は46教区、106直属。

人事

【直属学生担当委員長辞令交付】

《立教179年8月25日付》

・堀越雄一（本任・本武蔵）

【学生担当委員会事務局退職者】

《立教179年8月31日付》

・濱本大嗣（大江・大媛）

・奥村 元（岡・岡村）

業務記録

《立教179年8月16日～9月15日》

8月19日 庶務会計部部会

21日 『Happist』納品

22日 『Happist』梱包

24日 研修会チーム会議

25日 委員会

教区担当者懇談会

例会

広報室会議

HARP勉強会

要員育成室会議

27日 高校の部研究室会議

出版部部会

学修部部会

委員会

学生連絡会

ビデオチーム会議

担当者活動部部会

学生部部会

出版部部会

学修部部会

人材育成部部会

委員会

担当者活動部部会

学生部部会

出版部部会

学修部部会

人材育成部部会

7日 要員育成室つくし会布教合宿（8日）

12日 研修会チーム会議

13日 屋内チーム会議

15日 春の学生おちばがえり

プロジェクトチーム会議

まことの夫婦



「私の夢は、孫の代に親族だけで月次祭のおつとめの手が揃うようになることです」。

これは、香川県小豆島の片田舎にある小さな教会の会長さんの言葉です。お世辞にも盛況な教会とは言えない現状ですが、地道に且つ着実に教勢を伸ばしておられます。有言実行あるのみと、兄弟、子供、甥姪に至るまで別席を運ばせ、「子供たちが一人暮らしを始めるには、神実様をお祀りするのが条件」と徹底。上級教会の行事にも精力的に参加され、参加者の大半がその教会家族とその友人であったこともありましたが、それは会長の子弟たちが職場や学校の友人を気兼ねなく誘った結果でした。ある時、「どうしたら家族や親戚が教会活動に

担当者活動部 委員

村田 眞也

「次代を担うようぼくの丹精」これが教祖百三十年祭を経て、次の塚へ向かう我々先達ようぼくの合言葉となつて久しい今日この頃。我々担当者にとっては通常の御用に更に拍車をかけるということでしょう。来る十一月二十五日に開催される「学生担当者大会」が、その口火となることは間違いありません。何卒、教区・直属担当者の皆様には、ご参集いただきますようお願いいたします。

立教179年 学生担当委員会 活動方針 『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

学生生徒修養会 高校の部 受講生・カウンセラー感想文

GAKUSHU for High School Students

●受講生感想文

学修に来るまで、自分の中で天理教の人の中で、自分以外がほとんど天理教を熱心に信仰していて、自分だけがガラガラしているのかなと思っていましたが、班の中で個々の過去、生い立ちなどを話した時に、同じ考えだった人が結構いたということが一番印象に残りました。

楽しかったのは、「走って！笑って！一手一つ」で十八班がみんな協力して一位を獲れたことです。頭に残っているのは、自分はその人を嫌いと思っても、それは「ほ、こりになるし、その人も嫌な気持ちになる」ということです。

(一回生 一年生 男子)

今まで、教会でお父さんやお母さんが何をしているかとよく分かっていなかった

し、どういう思いを持って教会の御用をしているのか知っているつもりだったけど、全然分かってなくて、今回の学修では、そんなことを教えてもらえて、初めてお父さんやお母さんの思いを理解できました。

この二十七班のみんなと仲良くなれて、一週間のほとんどが笑って過ごせて楽しかった。最初は不安でめっちゃ緊張したけど、出会って！友達になって！仲良くなって！ってやってるうちに、今は本当に出会えて良かったって思います。

(一回生 一年生 女子)

私は、天理教であるということを学校やクラブなどと言えずに隠してきましたが、仲間からとても良い言葉をもらったり、感話大会の弁士が同じ悩みを持っていたりしたので、少し心が楽になりました。天理教

であるということに、少しですが誇りを持てるようになりました。(二回生 男子)

今まで、教祖のことを話して伝えたいと思って、どこから話して、どんなことがあったのか、まだあやふやだったので、今回初席も運ばせていただいて、理解が深まったので、少しでも教祖の話をしたいなと思いました。まだ完全には話せないの、二席目からちゃんと運んで、多くのの人に天理教を伝えていきたいなと思いました。

(二回生 女子)

今回の学修は、教祖のお話をたくさん聞きました。そして、今までよりも教祖のすごさを身近に感じる事ができ、これから辛いことがあっても、教祖の教えを思い出し、精一杯頑張りたいです。

また、神名流しでは、行く前に目標を立てて、その目標を達成することができ、終わったときはとても達成感に満ちあふれていました。十二下りてをどりは、もっと練習して、頑張つてできるようにしたいです。

(三回生 男子)

私は白梅寮を目指しているのですが、カウンセラーさんが元白梅寮の人だったり、小学生の時にほんのちよつとだけ会った子と同じ班だったり、ほんとのほんとお引き寄せを感じさせてもらいました。

この年代の子達っていうのは本気でやることを恥ずかしがったりするけど、お道で出会った子達は、真面目な時もおふざけの時も全部本気で、だからこそ一週間でこの絆ができるし、離れたくないって思えるし、同級生でも尊敬できる人がいっぱいやし、本当に素晴らしいと改めて思いました。私は大きな怪我や病気をしたことがありませんが、そのことを本当に心の底からありがたいと思うようになりました。

(三回生 女子)

●カウンセラー感想文

私は、学生としてもスタッフとしても学修に一度も参加したことがありませんでした。私の班には台湾の学生が二人来てくれました。学修本期間が始まり、台湾の子が疎外感を感じないように気を配りながらも初めてのことがばかりでプログラムをこなすことで精一杯だったように思います。

そんな中、やっと初日の消灯を迎えるという時に、一人の学生が「辞めたいです」と告げてきました。台湾の子のことを心配していたのですが、違うところに見せていたかったです。二日目に話を聞いても辞めたいという気持ちは変わりません。その子は、上手く班の子達とコミュニケーションが取れずに馴染めていないようでした。しかし、寮の先生はもちろんのこと、講師の先生、女子カウンセラーさんが心を掛けて下さり、力を合わせてつとめる中に、だんだんとその子の表情が柔らくなっていき、最後まで通り切ってくれました。

それだけでなく、一番心強かったのは、女子生徒も含めた班の学生たちです。歩い

ている時にその子の肩を組んで話しかけたら、その子も輪に入れてみんなゲームをして楽しんだり、こちらが何もなくても、自ずと気付き、感じて、いつの間にか班の中にたすけ合いの輪ができていました。その子を通して、班が一つになるように神様が導いてくださったのかなと思います。「慣れない人たちとの親元を離れた団体生活に寂しさを感じる」と言っていた子が、最終日目前に話を聞くと、「こんな最高の仲間に出会ったのは初めて。離れるのが寂しい」と逆の寂しさを抱いてくれるようになっていました。

学生たちに何か伝えなければと思っていましたが、学生たちの姿を通して、こちらが思いやりやすけ合いの素晴らしさを教わったように思います。また、おちばの尊さを改めて感じ、私自身、学修一回生としてかけがえのない青春の時間を過ごさせていただきました。またみんなが、笑顔でおちばに帰ってくれることを夢見ています。

(二回生 男子担当)

学生生徒修養会 高校の部 一回生講師感想文

GAKUSHU for High School Students

今年はどんな学修になるのだろうか？期待と不安が入り交じる中、講師として三回目の学修を迎えさせていただきました。

「この期間中、どんなことが起こってきても、それは、親神様、教祖からお与えいただいた、生徒や私たちが成人するための種だから大丈夫！」そう、男女カウンセラーさんと三人で話し、問題を成人の種として、喜ばせていただこうと言って学修は始まりました。

そうすると、どんどんと問題が起こり、二日目にしてクラスは崩壊寸前でした。私は、何とか生徒たちに心を開いてもらい、クラスが一つになるために何ができるのだろうか、悩んでいました。

そんな時、一人の女子生徒がその雰囲気

耐えられず、涙を流す姿が目に入りました。

その瞬間、私は自分の大きな間違いに気付きました。生徒に心を開いて欲しいと思うばかりで、私自身が生徒たちに心を開けてなかったのです。そして、これまでの自分の全てを話し、このおぢばにお引き寄せいただいた私たちは、これから一生関わって行く縁のある存在なんだ、と話しました。たった七日間だと思えば、綺麗事になってしまいが、一生だと思ふと、生徒たち全員が我が子のように感じることで、この学修へ送り出してくれた親御さんの思いになれば、伝えたいこと、感じて欲しいことは、自ずと出てきました。しかし、話し終えた私に一人の女子生徒から、「私達の思いは、いつ話すの？」と言われ、

またもや自分の未熟さに打ちのめされました。

生徒たちの思いを聞かず、自分の思いだけを言つて、満足していた自分がいました。この一件から、生徒の声に耳を傾け、話を聞いていくうちに、徐々に心を開いてくれ、クラスが一つになりました。

私はこのことを通して、生徒も講師も、このおぢばでお育ていただいているということ、を改めて感じさせていただき、この学修でしか感じることのできない喜びと感動をお見せいただきました。

最後に、様々な人の支えがあつて、私は講師として教壇に立たせていただいたことに本当に感謝しています。学修、最高！

教区担当者懇談会 開催報告

去る八月二十五日、第三十八母屋に於いて、教区担当者懇談会を開催し、四十二教区から六十六名が参加しました。

今回の懇談会は、「学生と関わる一育成者という同じ立場で、学生の丹精についてねりあい、道の将来を担う人材の育成について考える。また、改めて真柱様のお言葉を心に治めた上で、これから出来る丹精について抱負を述べ合う」というねらいを持つて、ねりあいを中心としたプログラムを全て大広間で行いました。

まずはウォーミングアップ、グループ別の自己紹介の後、秋岡副委員長より「私達は同じ育成者として学生層にをやる思いを伝える役割をいただいている。今日は、その役割を精一杯つとめていけるような機会となるようにさせてもらいたい」と開講挨拶

がありました。その後は、全体司会の進行のもと、再度グループに分かれてねりあいを行いました。

最初のねりあいのテーマは「『教祖百三千年祭 学生おぢばがえり大会』を通して、学生会・学生にどんな変化がありましたか？」というもので、それぞれの教区の現状を報告し合い、続いて「どのような学生会・学生ともなってもらいたいですか？」というテーマで、参加者それぞれが持つ思いを話し合いました。

その後は、「そのようになってもらう手がかりとして、どんな工夫ができると思いますか？」という質問でグループ内でインタビューし合いました。インタビュー後はその内容をグループ内で発表し合い、更にいくつかの班にはその内容を全体に発表してもらいました。

休憩後は、「教祖百三千年祭 学生おぢばがえり大会」での真柱様のお言葉を全員が改めて熟読して振り返りました。その後、グ

ループ内で今後の丹精について思いついたこと、何ができるか、何をすべきかなど、抱負を話し合いました。

プログラムの最後は、委員長が挨拶に立ち、自身の学生時代のエピソードを交えながら、学生に対する今後の丹精について、「胸から胸へ信仰の喜びをしっかりと伝えさせていただき、共に育つ努力をさせていただきます」と締めくくりました。

終始和やかに、かつ真剣に話し合いが行われ、更に、改めて真柱様のお言葉を胸に治めることができた大変素晴らしい懇談会となりました。



大学生の集い Work & Talk 開催報告

●北陸ブロック

八月二十七日から二十八日にかけて、新潟教務支庁を会場に「北陸ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 新潟」が開催され、十五名の学生が参加しました。

初めは緊張していた学生も同じブロックの仲間たちと出会い、ウォーミングアップ、グループタイムを通して、互いに打ち解け合いました。

自己紹介など、お互いを知るグループタイムを行った後、自分たちにとっての理想の教会について話し合いました。学生たちは理想の教会について考え、全体発表の場を設け、「人がたくさん集う場所」などの意見が出ました。

二日目には、「教会にながろう」というテーマのもと講義を聞き、学生たちは教会に繋がることの大切さを学びました。講義後には、天理教のことで疑問に思っていることを担当者の先生に聞く「天理教Q&A」を行い、学生たちは活発に意見を述べ合っていました。

学生たちは、この二日間を通して教会に繋がる大切さを学びました。

●中国ブロック

八月二十七日から二十八日にかけて、笠岡大教会を会場に「中国ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 岡山」が開催され、十二名の学生が参加しました。参加した学生は、今回のテーマである「つながり」に沿って、「おちばとのつながりコース」、「おやとのつながりコース」、「友とのつながりコース」の三つのコースから、それぞれが関心のあるコースを選択し、プログラムに取り組みました。学生たちは、グループワークなどを通して、同じ道につながる同世代の仲間と互いに打ち解け合いました。

二日目は、コースごとに「つながり」について全体発表を行った後、岡山教区学生担当委員会平野前委員長より、テーマに沿った講話が行われました。学生達は期間を通して、それぞれが持つ、おちばやおや、友などの様々

なつながりの多さを再確認しました。そして、今回のプログラムを通して感じたことを大切に日々を通ることを誓い、会場を後にしました。

●東海ブロック

八月二十八日から二十九日にかけて、岐阜大教会を会場に「東海ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 岐阜」が開催されました。

今回は「心の成長」をテーマとし、教区学生担当委員二名と学生二名が一組となって事前に話し合いを重ね、六つのコースを用意して、そこに五十名の学生（コース担当の学生を含む）が参加をしました。

初日は、全体でウォーミングアップをし、開講式を行った後に基調講演を聞き、そのふりかえりを行いました。その後、コースごとに用意されたプログラムに沿って教理勉強（八つのほこりや逸話篇など）やグループタイム（ウォークラリーやクロスインタビューなど）を行い、更には花火などのお楽しみ行事を通して交流を深めました。

二日目は、コースごとのプログラムに沿って、に、い、が、けを行ったり、ひのきしんに汗

学生担当者報

を流したりしました。そして昼食後に、全体で各コース内容の報告をし、二日間を通して感じたこと、印象に残ったことなどを発表しました。

今回の「Work & Talk」では、学生それぞれがプログラムを通して、心の成長について考え、教えを実践することによって自らの心を育てていくことの大切さを学びました。

●東北ブロック

八月二十九日に国立岩手山青少年交流の家を会場に「東北ブロック Work & Talk 2016 in 岩手」が開催され、六名の学生が参加しました。今回は台風が接近したため、当初八月二十九日から三十日までだった一泊二日のプログラムを変更して、八月二十九日の午後のみの日帰りプログラムとなりました。

まずグループタイムで自己紹介や自分の将来を発表し合った後、吉川万寿彦委員長から今回のテーマ「神のからだ」についての講話があり、学生たちは真剣な態度で耳を傾けていました。その後ふりかえりでは、この世は神のふところ住まいであり、ご守護と切り離しては生きていけないということを学んだ上で、卒業後、道一条を志す学生や就職する学

生のどちらも、自分にとって神一条の生き方とは何なのかを話し合う貴重な時間となりました。

最後は来年も参加し、同世代の仲間たちとさらに多くの意見を交わしたいという意気込みを持ちつつ会場を後にしました。

また、台風の影響で参加することができなかった福島教区・宮城教区は合同で宮城教区内に学生五名が集まり、一泊二日で交流行事を行いました。

●九州ブロック

八月二十九日から三十日にかけて、福岡教務支庁を会場に「九州ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 福岡」が開催され、十三名の学生が参加しました。

「陽気ぐら、いっお道の素晴らしさに気づこう」をテーマとして、五つの班に分かれ、それぞれに男女二人のカウンセラーが付き添う形で進められました。初日は五つのレクチャーを通して教理を修めると同時に親睦を深め合いました。

二日目は特別講師、笹倉雅浩先生による「に、い、が、け・おたすけこそ人生最高の生き方」若者よ布教師を目指せ！と題した熱い講

話に学生たちは真剣に耳を傾け、その後のに、い、が、けに向けて気持ちを高めていました。教務支庁周辺で行われた神名流し、路傍講演では、初経験の学生も勇んで取り組んでくれました。

今回は、「とにかく学生に信仰の喜びを伝えたい」との講師とスタッフの熱が学生たちに伝わった良い開催になりました。

●四国ブロック

九月三日から四日にかけて、南阿大教会を会場に「四国ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 徳島」が開催され、四国各地から学生十七名が参加しました。

今回は「阿呆になれ！」をテーマのもと、三班に分かれ、グループワークや講話、ねりあいを行いました。初めは緊張していた参加者も、レクリエーションを通して徐々に打ち解け、話し合いの充実に繋がりました。二日目には大教会周辺でに、い、が、けや大運動会などが行われました。

参加した学生たちは、普段あまり話す機会の少ないお道の学生と深く話し合うことができ、大変有意義な時間を過ごしていました。

立教179年 「育成に役立つ研修会」 募集要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。

この度、下記の通り「育成に役立つ研修会」を開催いたします。本研修会は、昨年まで「HARP研修会」として開催していたものですが、人材育成の現場において現状に即した幅広いニーズに応じることができるよう、コース内容を改めて開催するものです。

各教区、直属において学生層育成に関わる方はもちろんのこと、この機会に婦人会、青年会、少年会に携わる皆様にも幅広くお声がけいただき、道の将来を担う人材の育成・丹精の一助としてご活用ください。

記

◎日時 立教179年11月27日(日)～29日(火)
集 合：27日 13時00分 第8母屋
解 散：29日 15時30分 第8母屋

◎会場 第7・8・9母屋

◎定 員 150名

◎受講費 4,000円

◎携行品 ・ハッピ、保険証、その他合宿で必要なもの
・女性の方はズボン着用でご集合ください。

◎注意事項 ・研修会の性質上、遅刻・早退を含め変則的な受講はご遠慮ください。

◎コース内容

◆HARP体験コース ～HARPをとことん味わおう～

ねらい：学生層育成行事で扱っているHARPの有効性を体験すると共に、その心得を学ぶ。

内 容：HARPプログラムの体験、講義

こんな方におすすめ …

- ・まずは学生層育成の基本を学びたい方、雰囲気味わいたい方。
- ・HARPってどんなものだろう？と思っている方。
- ・学生が学修やまなびば、その他学生層育成行事でどんなことを体感しているのか知りたい方。

◆サポートコース ～ウォーミングアップやエクササイズを活用しよう～

ねらい：各種育成行事のプログラムに役立つウォーミングアップや様々なエクササイズの習得。

内 容：ウォーミングアップ、エクササイズの体験及び解説、講義

こんな方におすすめ …

- ・直属アワーやその他の学生層育成行事、また各会の育成行事（あらきとうりよう入門塾、こかん様に続く会など）のプログラムの一コマに活用できるウォーミングアップやエクササイズを学びたい方。

◆プログラミングコース ～充実した育成行事を開催しよう～

ねらい：各種育成行事の企画、立案、プログラム作成、運営について学び、行事開催の意識を高める。

内 容：エクササイズ体験、プログラム構成の模擬実践及び解説、講義

こんな方におすすめ …

- ・教区、直属において各種育成行事を企画、運営される方。また、学びたい方。

◎申し込み

- ・申込用紙に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申し込みください。
- ・11月17日（木）締め切り(定員になり次第締め切ります)。
- ・キャンセルの場合、必ずご連絡ください。11月25日以降のキャンセルについては受講費の返却はできませんのでご了承ください。

◎お問い合わせ

天理教学生担当委員会事務局

Tel 0743-63-1511(内線5817) 0743-63-2489（直通）

Happist Photo Gallery



行事中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています！

内 容：教祖130年祭 こどもおちばがえり学生ひのきしん隊
立教179年 学生生徒修養会 高校の部

販売期間：平成28年9月25日～平成28年12月24日

購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード(各行事で異なります)を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードについては、参加者と担当者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧ください。学生担当委員会事務局(☎0743-63-2489)までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格：L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。

U R L：http://11kao.jp/

Happist11月号 予告

[特集] Let's DIY

連載

・教理コーナー
明日を展くをやの言葉 佐藤 浩司 (天理大学名誉教授)
・輝く生き方見つけよう
Key Person 辛坊 治郎 (ニュースキャスター)
・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 和田 与志男 (平取分教会長)
・人生を彩る1冊をあなたに。
虹色のしおり 杉岡 千幸 (天理教校学園高等学校教諭)
・東馬場先生と学ぼう！
Happistニュース 東馬場 郁生 (天理大学教授)

開催報告 道の学生ひのきしんDAY

個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。
※内容は一部変更になる場合があります。

青 空

本部勤務者として学生担当委員会での御用を命ぜられ、出版部に配属されてから三年半が経ち、四度目の学修を区切りとして、退職の運びとなりました。思えば、二年目当初から特例でお与えいただいた「Happist」デスクという立場と責任。その道のりには言葉では言い表せない険しさがありました。

退職間もなく、数年前に取材でお世話になった学生さんから、一通のメールが届きました。そこには、「僕を学生会につないでくれて、教区の委員長までさせていたくださるようになったのは、奥村さんのおかげです。本当に感謝してます」との一文が。取材させていただいた学生さんに本部での行事をアプローチすることは多々ありますが、それが実となり感謝されることなど考えてもおらず、心から嬉しさが込み上げました。地道な働きかけが実を結び、一人の人生に少なくとも影響を与えられたのだと思うと、険しさの裏には言葉では言い表せないほどに美しい「喜びの種」を頂戴していたのだと、気付かせていただくのです。

出版部局員 奥村 元

学生担当者大会のご案内

日々は学生層育成の上にご丹精いただき、誠にありがとうございます。

さて、来る11月25日、学生担当者の総会ともいうべき「学生担当者大会」を下記の通り開催いたします。本年は、表統領中田善亮先生よりご講話をいただきます。

教務ご多忙の折とは存じますが、教区・直属の主だった方、支部担当者の参加はもちろんのこと、本年の学生生徒修養会 高校の部スタッフなど、広く学生層育成に携わる方々にも何卒お声がけくださいますよう、ご案内申し上げます。

【日 時】

11月25日(金)13:00開始 (受付12:30～)

【会 場】

第二食堂

【対 象】

教区・直属担当委員長、委員、支部担当者、学生層育成に携わる者

【内 容】

表統領中田善亮先生ご講話
委員長挨拶
ビデオ上映
引き続き、11月例会

「まなびば」開催会場一覧 《10月開催分》

教 区	開催日時	場 所	担当者	電話番号
北海道 ※道北ブロック	10月1日14時～2日15時	紋養分教会	神野	
奈良	10月1日13時30分～2日15時	宇陀分教会	梅本	
岡山	10月1日10時～ 2日16時30分	国立吉備 青少年自然の家	松井	
長野	10月9日13時～10日15時	岡谷塩嶺 野外活動センター	星野	
三重	10月15日13時～ 16日14時30分	教務支庁	井上	
佐賀	10月15日14時～16日14時	教務支庁	河野	
愛知 ※尾張ブロック	10月29日13時～ 30日12時30分	岩倉市青少年 宿泊研修施設 「希望の家」	鈴木	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。